

琉球大学学術リポジトリ

新聞切り抜き：『東京朝日新聞』

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38080

矢内原忠雄文庫

史料名	昭和10年5月25日『東京朝日新聞』見出し:5カ年計画で南洋群島開発
封筒番号	162
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月10日
撮影者	富士写真フイルム株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：162

史料名	昭和10年5月25日『東京朝日新聞』見出し：5カ年計画で南洋群島開発
資料形態	新聞切り抜き
枚数	1
頁数	1
縦 (cm)	11.5
横 (cm)	9.5
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 今泉分類記号：P

五ヶ年計畫で
南洋群島開發
 愈々六月中旬から三ヶ月間
實地調査班を派遣

拓務省南洋群島開發調査委員会は従てより南洋群島の開發に關し研究中であつたが、昭和十一年度を期し實施する方針に決定し六月中旬から約三ヶ月の豫定で實地調査班を派遣する事に決定した。一、土地の開發。この調査には島嶼大より調査班をたす豫定である。内容は約二萬町歩の國有未開墾地に移民を入れる方針で約八百萬圓の經費を必要とする。

見込である。一、水産開發。調査班は農林省關係から出る豫定である。この内容は漁場の調査、漁業根據地の選擇、餌料の供給方法その他水産試驗場の設置等の調査に當る。二、交通、通信並に金融調査。この調査班は内務、大藏の兩者から出る豫定である。その内容は港灣の改修、道路水道の改修新設、無電、その他通信網の完備、一方金融に關しては百下の

所金融機關としては郵便局以外は無いで銀行の支店を出して貰ふための調査をする。以上の調査班は各班大體二名の豫定で拓務省及び南洋廳の關係官も同行し九月中旬歸京の上調査の結果を纏め昭和十一年度豫算から組込む方針であるが大體五ヶ年計畫を以て完成せしめんとする意向である。

昭和十一年
 五月二十五日
 東京市朝日

